ご当地検定

地元を愉しも。タマケン。知のミュージアム 多摩・武蔵野検定

多摩・武蔵野検定（愛称＝タマケン）は「多摩が大好き」といえる人間を一人でも多く育てるための検定試験です。タマケンを通じて地域の魅力を再発見しましょう。

検定内容は基本的に公式テキストに沿う形で、自然、地形、歴史、文化遺産、産業、文化など様々な分野で出題します。2009年度は3級（基本的な知識レベル）と2級（高度な知識レベル）を実施します。

公式テキスト・模擬問題集は都内主要書店で発売中です。

お問い合わせは多摩・武蔵野検定事務局（☎042・524・9577、午前10時～午後5時、土・日曜日、祝日を除く）へ。ホームページ（http://www.tamakentei.jp）もご覧下さい。

問 企画政策課☎724・2103

多摩・武蔵野検定受検のご案内

	マスター3級	マスター2級
検定日	11月8日（日）	
検定時間	午前10時～11時30分	午後2時～3時30分
	※併願可能	
検定会場	中央大学多摩キャンパス（八王子市東中野742－1）	
合格基準	正解率70％以上	
申込受付	8月3日（月）～9月28日（月）	
申込方法	①書店での申し込み ②ハガキでの申し込み ※①②に関する受験申込書は一部の書店や公共施設等に置いています。 ③インターネットでの申し込み http://www.tamakentei.jp	
検定料	3,150円	5,250円
	※団体割引き（10人以上）有り	

犠牲者のめい福と恒久平和を祈って

黙とうを捧げましょう

1945年8月6日、広島に人類史上初めて原子爆弾が投下されました。さらに、8月9日には長崎にも投下され、太平洋戦争は、8月15日に終戦となりました。

被爆・終戦から60年余りの歳月が過ぎましたが、戦争の傷跡はいまだ深く残っています。わたしたちは、犠牲者のめい福を祈ることを忘れず、戦争のない平和な世界の実現のために、永久に努力していかなければなりません。

そこで、町田市は恒久平和の願いを込めて、1983年2月1日に非核平和都市宣言を行ないました。また、1988年2月1日には市役所駐車場側入り口前に宣言文と広島市から寄贈を受けた旧広島庁舎の被爆石を組み込んだ宣言碑を設置しました。

市では、広島原爆投下の日である8月6日、長崎原爆投下の日である8月9日、並びに終戦の日である8月15日に、以下のとおりそれぞれ1分間、防災無線でチャイムを鳴らします。犠牲者のめい福と世界平和を願って、黙とうを捧げましょう。

○6日　広島原爆投下の日　午前8時15分から
○9日　長崎原爆投下の日　午前11時2分から
○15日　終戦の日　正午から

問 企画政策課☎724・2103

緊急雇用対策事業を実施します

緊急雇用対策事業を順次実施します。募集は受託業者がハローワークを通じて行います。

○主な業務　樹木等の管理作業、アンケートなどの聞き取り調査、資料整理
※雇用条件・募集時期等は業務により異なりますのでハローワークでご確認下さい。
※お問い合わせの際は「緊急雇用対策事業」と伝えて下さい。

ハローワーク町田

○所在地等　森野2－28－14、町田合同庁舎1階（平日＝午前8時30分～午後7時、土曜日＝午前10時～午後5時）、☎732・8609

問 企画政策課☎724・2103

町田市ホームページ広告募集中!!

募集期間 8月17日（月）まで

町田市ホームページにお店や会社のバナー広告を載せてみませんか？

○応募資格　ウェブサイトをお持ちの事業主の方
○掲載期間　10月1日～2010年3月31日
○掲載場所　トップページ右側
○掲載料　1枠（縦50ピクセル×横130ピクセル）1か月あたり3万円
○募集枠数　8枠（申し込みは1枠1か月単位）
○申し込み　電話で広報広聴課（☎724・2101）へ。募集案内をお送りします。
※掲載できる広告に制限があります。条件等はお問い合わせ下さい。

小山中学校の通学区域等について

2012年4月1日に開校予定の小山中学校の通学区域が設定されました。併せて、関係する既存校の忠生中学校と堺中学校の通学区域の一部が変更されました。

また、開校年度の基準日に小山中学校の通学区域内にお住まいで、前年度に忠生中学校または堺中学校に通学していた新2年生と新3年生の、就学校の指定に関する特例措置と、堺中学校の通学区域のうち小山町、小山ヶ丘五丁目の各一部を希望により、小山中学校への入学を認める地域として設定しました。

各校の通学区域の住所及び特例措置等の詳細については、学務課までお問い合わせ下さい。

また、町田市ホームページ（暮らしのガイド→教育→学校教育）でもご覧いただけます。

問 学務課☎724・2176

通学区域

小山中学校	忠生中学校	堺中学校
小山ヶ丘一・二・三丁目の全部、小山町・小山ヶ丘四・五丁目の各一部	図師町・矢部町・忠生一・二・三・四丁目の全部、山崎町・木曽町・根岸町・下小山田町・木曽西五丁目の各一部	小山ヶ丘六丁目の全部、相原町・小山町・小山ヶ丘四・五丁目の各一部

町田市は8月1日から

景観行政団体になりました

市では、地域の身近な個性や魅力を生かした良好な景観形成を推進するため、景観法の規定に基づき、景観行政団体（景観法に基づく様々な景観施策を行うことができる地方公共団体）の同意に向けた東京都との協議を進めてきました。

このたび東京都知事の同意を受け、市は、8月1日から景観行政団体になりました。

今後は、町田市に係る東京都の景観施策を引継ぎ、届出制度の運用を進めていくとともに市独自の景観計画の策定に向けて景観行政を進めていきます。

問 まちづくり推進課☎709・0642

健康メモ

ビスフォスフォネート系薬剤と歯科治療との関係

骨粗しょう症の代表的な治療薬であるビスフォスフォネートと呼ばれる種類の薬には、抜歯などの顎の手術がきっかけで、一般的な歯科の外科治療で起こる偶発症・合併症だけでなく、顎骨壊死（がこつえし）を起こす危険性があります。

顎骨壊死とは顎の骨が腐ってしまうことで、この薬を服用している方に顎骨壊死が起こった場合、それを治すことが現在の治療では困難で、最悪の場合、顎骨骨折を起こしたり顎骨がなくなったりするまで進行が止まらないことがあります。

日本でもビスフォスフォネート系薬剤を服用している骨粗しょう症患者の抜歯後に、顎骨壊死が発生していることが報告されています。また、2003年の初報告以来、顎骨壊死を発症する例が世界的に多発してきており、添付文書にもビスフォスフォネート系薬剤治療開始前に歯科治療を終了すべき勧告や、発症時の注意事項などが書かれております。

顎骨壊死を起こさないためには抜歯しなければよいと思われるかもしれません。しかし、抜歯が必要な歯を放置することは口腔内の不衛生を引き起こしますし、またそのような不衛生による顎骨壊死の発生も報告されています。

ビスフォスフォネート系薬剤には、骨の病気や脚の骨折をはじめ、骨粗しょう症に関連した合併症を減らしてくれる利点がありますが、お口の中に問題があると思われる方はよく主治医と相談されることが良いと思います。

骨に関与する口腔外科処置（代表的には抜歯）を契機に症状が出現することが多いようですので、主治である先生からも有害事象の可能性について及び発症予防のための口腔衛生の重要性についてご説明いただければ、患者さんも安心されると思います。

（町田市歯科医師会）